

ふれあい通信

爽秋号

塩谷南那須地区ふれあいじんけんフォーラム

令和6年7月11日(木)高根沢町町民ホール

人権教育講演会では栃木県人権施策推進審議会 会長 廣瀬 隆人(ひろせ たかひと)氏を講師に迎え、「～着物や民具に触れて学ぶ～ アイヌ民族の歴史と文化」の演題で御講演いただきました。

「アイヌ民族」という普段関わりが少ない課題に向き合ったテーマでしたが、講話だけでなく、アイヌ民族の着物や民具に直接触れる体験を通し、より深くアイヌ民族の歴史や文化について知ることができました。私たち一人ひとりが常に人権感覚を磨くこと、日常生活において相手を尊重することが大切だと考える、良い機会になりました。



参加者の感想

- 「多様な文化は国の豊かさを象徴する」という言葉が心に残りました。これからの子どもたちにも、この考えを伝えていきたいと思いました。
- アイヌについては、「さわって感じてアイヌ文化にふれることで理解する」と先生からお話がありました。アイヌに限らず、自分の知らない文化についても、まず「さわって、感じて、ふれる」ことが大切なのかなと思いました。

家庭教育支援プログラム 指導者フォローアップ研修

令和6年8月30日(金)那須庁舎

今年度は、塩谷南那須地区と那須地区の各市町の家庭教育支援の活動者を対象に、新たなネットワークづくりや活動の活性化を図るため、合同で開催しました。

各団体、各市町の家庭教育支援の取組を紹介し、グループ協議として活動に関する課題や改善策について話し合いました。最後に、栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会那須ブロック長 河野辺尚美(かわのべ なおみ)氏による事例発表「大人向け読み聞かせ」を実演していただきました。心に染み入る柔らかい声の読み聞かせに心が安らぎました。合同開催を通して、新たなつながりをつくることができました。



人権教育地区別指導者研修

令和6年9月4日(水)喜連川公民館

人権教育講話では、国立ハンセン病資料館事業部 社会啓発課の牛嶋渉(うしじま わたる)氏を講師に迎え「ハンセン病対策の歴史と被害の実態」の演題で御講話いただきました。これまでのハンセン病患者に対する差別について、スライドや動画を効果的に使って、分かりやすく話してくださいました。

また、さくら市教育委員会生涯学習課の高瀬亮 社会教育主事より国立多磨全生園の視察報告をしていただきました。療養所の実態を知ること、ハンセン病をより身近に感じることができ、人権教育の大切さを改めて感じました。



とちぎ子どもの未来創造大学「出前講座」

とちぎの子どもたちが、学ぶ意欲を高め、主体的に学習に取り組む姿勢を育むことをねらいとして、県内の高等機関や民間企業等と連携しながら、「本物」に触れる学習機会を提供しています。

7/23(火)烏山公民館
「おこづかいゲーム」栃木県金融広報委員会



7/24(水)塩谷町生涯学習センター
「モノづくりの大切さ、面白さを体験しよう」
(株)日産自動車 栃木工場



7/29(月)喜連川公民館
「飛行機はなぜ飛ぶの(ステップ)」(株)SUBARU



8/1(木)矢板公民館
「体験気象学」宇都宮地方気象台



少年の主張発表大会

栃木県少年の主張塩谷地区、南那須地区大会が開催されました。各中学校を代表する生徒が、普段感じている思いや未来へ向かう気持ちを精一杯表現しました。素晴らしい発表ばかりでした。

なお、塩谷地区大会で最優秀賞を受賞した、高根沢町立北高根沢中学校3年の岡本智尋さんは、9月21日(土)に行われた栃木県少年の主張発表大会でも最優秀賞を受賞しました。おめでとうございます！

塩谷地区 8月30日(金)

南那須地区 9月2日(月)

